



瓦礫の中から結婚式の写真を見つけ思わず微笑むおかあさん



3月27日、桂島の避難所での健康相談を終え、自宅にいる人の相談に出かけた。島民の多くは後片付けに精を出していた。瓦礫の中から結婚式の写真を見つけ思わず微笑むお母さん。アルバムは何物にもかえられない。鮮やかな思い出は必ずや復興の力になる。子どもたちも片づけを手伝っていた。子どもの存在は島民の“大きな希望”だ。島民の笑顔は必ずこの島を蘇らせてくれるに違いない。

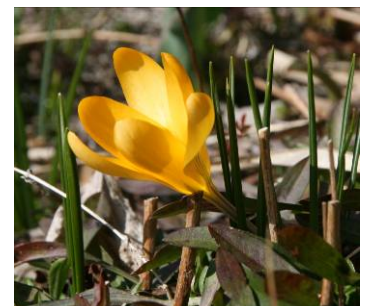
(撮影 宮城民医連 神馬 悟)



キクチさんご夫婦は息子さんが迎えにきて2週間以上に及んだ避難所生活を終えます。島民が「元気でね」と声をかけていました。



支援物資を届けてくれた海上自衛隊のヘリコプターに手をふる島の少年



島民の庭に咲いていたクロッカスの花 春は確実に訪れている